

ご記入後4月末までにお送りください

COG2016最終公開審査対象フォローアップ（一年後）

アイデア名	数理的犯罪予測を用いた警察・自治体向けパトロール経路提案システム
チーム名	Singular Perturbations
代表者	山本弥生
公開チームメンバー	山本弥生、梶田真実、梶田晴司
自治体連携先（部署と氏名）	神奈川県 安全防災局 安全防災部 くらし安全交通課 高木 康成様

東京大学公共政策大学院
PADITプログラム
COG事務局
2018年4月19日

COG2016ウェブサイト：<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2016/>

COG2016フォローアップ

目次

- 提案されたアイデアの状況
 - 現時点で実現されていること
 - 目標の実現に向けての状況
 - 自治体との連携の状況
 - その他
- 次頁以降のスライドの灰色の部分は削除して記入欄のスペースを広げてご記入ください。
 - できるだけ簡潔にそれぞれのパワポの枠に入るようにご記入ください。

1. 提案されたアイデアの状況（現状）

提案アイデア（目標）

- 独自に開発した犯罪予測アルゴリズムを用いて、以下の2つのアプリケーションを開発し効率的な防犯活動に役立てる。
- (1)犯罪予測アルゴリズムを用いた効率的なパトロール経路提案システム
- (2)犯罪予測結果を日々配信、通知するモバイルアプリケーション

その後の変更点

- もし変更点があればご記入ください
- 軽微なものは書かなくても構いません

2. 現時点で実現されていること

- 犯罪予測アルゴリズムを多変量版へ拡張し、オープンデータを使った手法開発を進めている。(テロ予測など)
- オープンデータ官民ラウンドテーブルにて、警察庁様へ犯罪発生状況データのオープンデータ化の要望を提出した。
 - https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/data_ryutsuseibi/kanminrt_dai2/gijisidai.html
- オープンデータ公開を進めていくと回答を頂いた。
 - https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/data_ryutsuseibi/kanminrt_dai2/kekkagaiyou.pdf

3. 目標の実現に向けての状況

今後のマイルストーン

- 日本の犯罪データ分析の許可を得る
- 日本の犯罪発生パターンに適した犯罪予測アルゴリズムの開発
- 実用化に向けた実証実験
- オープンデータを用いた犯罪予測モバイルアプリケーションの開発

課題：

- データ利用許可を得ること。分解能の高い犯罪オープンデータが現状では未だ不十分であるため、研究の進展がやや難しい・サービス化が困難

4. 自治体との連携の状況

- 進捗なし

5. その他

- オープンデータコンテスト出場でのご縁からデータ分析の仕事が生まれ、起業しました（株式会社Singular Perturbations :<http://www.singularps.com>）
- 犯罪予測に関する科研費プロジェクトの研究分担者となり研究環境のサポートを頂きました。